



県PTA広報

発行 者
三重県PTA連合会
編集 広報委員会
〒514-0061津市一身田上津部田1234
三重県総合文化センター内
三重県生涯学習センター2F
TEL 059-233-1163
Eメール rengokai01@mie-pta.com

県P連ホームページ <http://www.mie-pta.com/>



会長あいさつ

三重県PTA連合会
会長 松山 安利
(伊賀市/阿山小)

平素はPTA活動にご理解ご支援をいただいていることを、皆様に厚く御礼申し上げます。

また、北海道では大地震による大災害といったように、記憶に残る出来事が多い年だったように思います。

子どもたちが、安心・安全に学校生活や家庭生活を送れるために、家庭・学校・地域・行政の方々と課題を出し合い、問題の解決に努力しております。

平成が終わるまで2カ月を切りました。「平成最後」という言葉がよく耳にします。皆さんはどのよう

な1年でしたか。三重県では、多くの出来事がありました。大雪が降ったところがあったり、台風が何個も上陸して停電になったり、逆走台風の接近や子どもたちの登校時間での緊急地震速報が鳴ったりもしました。

また、北海道では大地震による大災害といったように、記憶に残る出来事が多い年だったように思います。

子どもたちに目を向けると、日本一の下克上と言われた白山高校野球部が、見事甲子園への切符を勝ち取り、マスコミに取り上げられるなど全国でも大きな話題にもなりました。

また、平成最後の高校総体が皇太子殿下のご臨席のもと、三重県で開催されました。

高校生の発想力やパワーには、感激しました。後々聞いたお話によりますと、皇太子殿下は甲子園出場を果たした白山高校のことはもとより、高校野球にはかなり詳しいとのことだそうです。

教育に目を向けると、「これからの子どもたちはどうなっていくのか？」と考えたとき、教育基本法が変わり、英語科目が小学校から始まります。プログラミング教育が導入され、大学入試制度が変わること、これからの数年で今までの常識が大幅に覆されることになると思

います。その変化には、「私たちもついていかなくては」と思いますが、12月15日に開催させていただいた緊急シンポジウムを通して、正しい情報をもっと多くの機会を通じて発信していくことも私たちPTAの使命だと思

います。教育もどんどん変化していく中、携帯電話やスマートフォンも日々大きく変化しています。一日の大半が携帯通

信にかかわってしまっていることもあります。子どもたちの中には1日に6時間以上使

用している実態が、アンケート等で報告されています。ライン電話など、意味も

なく繋がっている場合もあるそうです。スマートフォン使用率が上がる中、ネットの脅威に対して使

用させている責任を持つ保護者が、知らない・分らない時代は済まされないと

平成30年度

三重県幼小中・高PTA研修会



平成30年10月31日(水)、三重県生涯学習センターにて「三重県幼小中・高PTA研修会」が開催されました。平成7年から始まったこの研修会は、当時PTA活動がマンネリ化し、

家庭教育・地域教育という領域にまで達する広がりがないという理由から設立されたという経緯があります。そのことから今後の幼・小・中・高段階の子育てに、あるいはPTA相互の連携の促進や資質の向上に役立つことを期待して毎年開催されています。本年度は講師に、三重県立四日市商業高等学校の鈴木達哉校長、ユマニテク短期大学の鈴木建生副学長をお招きし、「幼小中高を通じたキャリア教育」の演題で講演を行いました。そのことか

はキャリア教育について、まず鈴木達哉校長より、「子育ての基本姿勢として、①『傾聴』話しの聞き方 ②『承認』相手の深め方、の3つの基本スキルを活用すること、人が育つ大前提としてなにより大事であることを学びました。



第46回 三重県教育関係団体懇談会 (以後六者懇) 主催の第46回三重県教育関係団体懇談会が津市メッセウイングみえにて開催されました。開

三重の教育を考える集い

環境の急激な変化によって子どもたちを取り巻く新しい問題が、次々とこちらの対策をこえるスピードで発生し続けています。私たち保護者を張って子どもを見守っていきましょう。」と話されました。続いて

「子どもたちの学びの環境づくりにおいては、エアコン未設置校への迅速な設置対応。」

・IT教育の環境整備において、県内の各学校にて整備の

「言葉がうまく通じなくても、気持ちは通じる。」「お互いを思う気持ちが世界平和になる。」とお話されました。また、「生きる」とは自分をまるごと受け入れて、自分を大事にすること。そして「過去や未来にとらわれずに、いつも今に全力投球して下さい。」と語ら

平成30年11月10日(土) 三重県教育関係団体懇談会 (以後六者懇) 主催の第46回三重県教育関係団体懇談会が津市メッセウイングみえにて開催されました。開

「言葉がうまく通じなくても、気持ちは通じる。」「お互いを思う気持ちが世界平和になる。」とお話されました。また、「生きる」とは自分をまるごと受け入れて、自分を大事にすること。そして「過去や未来にとらわれずに、いつも今に全力投球して下さい。」と語ら



平成30年度
**三重県PTA
研究大会**

メインテーマ
「DREAM」
～エールを送ろう！子供たちの未来へ～

日時
平成30年11月23日(祝) 13時00分

会場
三重県総合文化センター 大ホール

参加者
三重県PTA会員 約1,200名



まず開会に先立ち、オープニングアトラクションとして白子ウインドシンフォニカ&津市立橋北中学校ブラスバンド部による演奏会があり、心温まる素晴らしい演奏や親世代には懐かしいバラエティー番組の楽曲などを演奏され来場者を和ませました。

続いて今大会にご臨席くださいました鈴木英敬三重県知事よりご祝辞を賜り、平成30年4月に施行された三重県いじめ防止条例について触れられました。

子どもたちを社会総がかりで守っていく。

子どもたちのいじめをなくしていくために大人もしっかり努力していく。

・大人は子どもたちをしつかり見ていく。

このようなメッセージを発信するため、4月と11月を強化月間として『ピンクシャツ運動』を展開している。

そしてこの運動を展開する上で大切な役割となってくるのが『PTA』であるとも付け加えられました。

次に、平成30年度三行詩コンクール入賞作品の表彰ならびにシンボルマーク優秀作品の表彰が行われました。

三行詩入賞作品はそれぞれ小学生の部、中学生の部、一般の部に別れており、作品紹介のあと受賞者は登壇し三重県PTA連合会の松山会長



から表彰状を授与され記念撮影を行いました。

なかでも桑名市立立教小学校2年生の中村圭吾さんの作品は、小学生の部で厚生労働大臣賞受賞という快挙を成し遂げられました。その他にも受賞された皆さんの作品におかれましては、ご本人の優しさが見み出しており、読み手がほっこりする作品や心打たれる作品ばかりでした。

そしてシンボルマーク

開会行事の最後に、

三重県PTA連合会
優秀賞のみなさん

- 小学生の部**
- 中村 圭吾 桑名市立立教小学校
ぼくは、どもりです。ママは「わらいいかえようね」とだきしめてくれます。それがぼくです。
 - 二階堂ツヨシ 上野西小学校
僕が雲って帰っても 気づけば母が晴れにして きつと明日はいい天気
 - 上西 隆磨 有馬小学校
だいすきなおじちゃん、おばちゃん、めんきょしょへんかんしてカッコイイ。
 - 前田 真愛 上野東小学校
泣いても 親が笑えば つられて笑う
 - 前出 純奈 豊地小学校
個性がちがっても 命の重さは いっしょだよ
- 一般の部**
- 山川 陽子 浜郷小学校
子育ては自分の時間を子に分け与える 分け与えた時間は子の力になる 親に貰った力はいつか子の宝になる 決して無ならない宝は時間に代えられない 親からの贈り物?
 - 湯目 千恵 倉田山中学校
おこずかい お手伝いでは 渡せません
 - 稲垣 智紀 豊地小学校
朝ごはん 家族そろっていただきます。笑顔で食べていきます。
 - 小沼 麻美 伊勢市立有綱小学校
娘が生まれてはじめて『しあわせ ちよきん』 毎日の『ありがとう』をためていく。我が家は『しあわせ億万長者』
 - 高井紀代子
今の世の中もったいない事は山ほどあるけど 一番もったいないのは、命を粗末にする事だと思うよ。だから、若い元気な命を大事にして欲しいな。自分一人の命じゃないんだからね。

- 中学生の部**
- 藤野 絢己 川越町立川越中学校
家族をつなぐ糸 なんどからまっても 一生切れない強い糸
 - 石上 凱聖 阿山中学校
ごはんのあたたかさを ななめ45度でかんじる
 - 中尾 雪菜 四日市市立港中学校
月見れば 一時間時差の 父おもふ
 - 西村 桃香 四日市市立桜中学校
今日の食事は明日の体 家族とともに健康を 家族のために健康を
 - 野村明日香 伊勢市立北浜中学校
うちの母 朝テレビをつけたら 消してくる



7/28日 **スマイルリーダー養成講座**

県内のPTA会員、幼稚園、小中学校教職員、各地区地域で子どもの教育に関わっている方々を対象に、参加者同士で共感を得て学びあう「みえの親スマイルワーク」ワークショップのファシリテーターを養成する「スマイルリーダー認定講習会」が、7月28日(土)三重県男女共同参画センターにて開催されました。

今回の講習会修了生がワークショップを実施する際、スマイルワークと同様に親同士が繋がりあい学んでいく「ながさきファミリープログラム」の手法を活用することで、スムーズに運用できるよう、長崎市緑ヶ丘中学校校長の本田勝一郎先生と長崎のPTA役員でもある桑原亜矢子さんに講師としてお越しいただきました。

また、文部科学省、県庁担当の方からの講話の後、「ファシリテーターとしての心構え」をエンパワメントみえの志治優美さんから、「小学校入学説明会でのスマイルワークの企画と実践」を松阪市米ノ庄公民館主事小林千加子さんから講義いただきました。そのなかで、アイスブレイクといわれる簡単なレクリエーションが行われ、参加者全員の心が打ち解けられ笑顔いっぱいになった後、「スマイルリーダーになることの悩み」をテーマに不安・悩み・疑問点を出し合いながらプログラムは進みました。

プログラム終了後、本田先生からの解説や、「みえの親スマイルワーク」を使ったワークショップを県内各小学校の就学時健診の際に開催する具体的な進行方法についての提案を受け、認定証を受領しました。

今回の講習会に参加した皆さんが、スマイルリーダーとして県内各地で開催されるスマイルワークで活躍されることを期待しています。ご参加いただいた皆さんお疲れ様でした。



平成30年度 **家庭教育委員会活動報告**

今年度の家庭教育委員会活動として、第一回は例年通り「みえの親スマイルワーク」を活用し、ネガティブな言葉をポジティブな言葉に置き換えるという内容でワークショップを開催しました。第二回は子ども達を取り巻くスマートフォン問題について県内各郡市の取り組みの中から、桑名市教育委員会 谷岡伸悟氏に「スマホおやすみ運動」、名張市PTA連合会事務局 岩本和子氏に「家庭でのルール作り」について発表して頂きました。

どちらも子ども達の睡眠時間が脅かされている事が大きな問題点となっていました。数年

前はまだ全ての児童生徒が所持しているわけではありませんでしたが、僅かな期間に子ども達の環境は大きく変化しました。しかしスマートフォンが子ども達に悪影響ばかり与えていると考えるのではなく、家庭で子どもと話し合いながら活用方法を考えていく事が大切だという認識で一致しました。

来年度は日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会の開催が控えています。委員会活動を更に活性化させ、家庭教育委員の皆さんと一緒に学びを深めていきたいと思っております。

一年間御協力ありがとうございました。

家庭教育委員会委員長 海野 淳子

第66回日本PTA全国研究大会

新潟県 新潟大会



平成30年8月24日(金)・25日(土)の2日間、新潟県内各地を会場として「第66回日本PTA全国研究大会新潟大会」が開催されました。直前まで台風の影響が心配されましたが幸い予定されていた全日程が無事行われ、三重県からは38名が参加をしてきました。

「教育は未来を拓く 新潟発 米百俵の精神！」をスローガンに掲げた本大会は、分科会と全体会合わせて計11会場それぞれ行われました。

1日目、家庭教育がテーマの第2分科会では「子どもの心が育つ家庭教育」を研究課題として麗澤大学学長であり道徳科学教育センター長も務められている中山 理先生を招いての基調講演があり、自尊感情やWell-being(幸福感)を育むことを目的の一つとした道徳教育の重要性について、海外での研究発表例を交えてのお話が興味深かったです。

本来の道徳教育とは、子どもたちが「他者とのより良い関係性の構築」をしていけることを目指しており、AI+超高齢化社会+グローバル化の波に直面するこれからの子どもたちにとって、自らの個性や考えを大事にする自尊感情を育てていくことの重要性が一層増してきている、との事でした。

基調講演終了後には中山先生を助言者として、教育カウンセラーや教育委員会委員の方たちによるパネルディスカッションも行われ、家庭内で子どもたちの感情を育む大事さ、と同時にその難しさなどが話し合われました。

2日目の全体会では、新潟県三条市出身の俳優 高橋克美さんをお招きしての記念講演があり、少年時代から俳優になるまでの半生をユニークなエピソードとトークで振り返る趣向で会場を盛り上げておられました。

また、全体会中には次回開催地の紹介があり、次回開催の兵庫県の実行委員会の皆さんが兵庫大会のPRを行いました。その中でも触れられておりましたが、奇しくも近年の全国大会は昨年度の仙台大会、今年度の新潟大会、来年開催予定の兵庫大会と、かつて大規模災害を受けた経験を持つ地域が続くこととなりました。

全体会の式典の挨拶でも度々被災時に受けた辛さや支援への感謝が語られるなど、被災から復興に向けて尽力する中で子どもたちを育ててきた方々による温かみを感じ、来年の兵庫大会への思いが膨らむような2日間でした。

来賓を代表し三重県議会議長の前田剛志様よりご挨拶を賜り、追って今回ご臨席くださいました三重県教育委員会事務局 育成支援・社会教育担当次長の森下宏也様、三重県小中学校長会会長の西村茂様のご紹介がありました。

そして休憩を挟み、本大会の記念講演に戦場カメランとして有名な渡部陽一さんに「世界からのメッセージ」希望ある明日のために」と題し、ご自身の体験をもとに戦場の悲劇、そこで暮らす人々の生きた声に耳を傾け、極限の状況に立たされる家族の絆についてご講演をいただきました。

渡部陽一さんは講演の最後に、「皆さんに将来余裕が来たときには、どんどん行ってみたい外国に飛び出してほしい。そこで得た経験は必ず自分にとって大きな支えとなる。」と締めくくられました。

「皆さんに将来余裕が来たときには、どんどん行ってみたい外国に飛び出してほしい。そこで得た経験は必ず自分にとって大きな支えとなる。」と締めくくられました。



第75回日本PTA東海北陸ブロック研究大会 三重大会
シンボルマーク優秀作品
早野 武流(中一)



第67回日本PTA全国研究大会

兵庫大会

平成31年8月23日(金)・24日(土)



第74回日本PTA東海北陸ブロック研究大会

愛知県 愛知大会

平成30年10月19日、20日に「第74回日本PTA東海北陸ブロック研究大会 愛知大会」に参加をしてきました。東海北陸6県1市より2500名のPTA会員が集まり、大会1日目は刈谷市をはじめ、豊田市、蒲郡市など各市に分かれて分科会が開催されたなか第6分科会(地域連携B)に参加してきました。実践発表校として、富山県射水市立塚原小学校PTAと愛知県高浜市立南中学校PTA両校の取り組み報告を聞きました。

両校共、特色のある取り組みをしておりまして、特に印象に残るものとして、南中学校の「リーダー研修会」という取り組みに感銘をうけました。そもそも、部活の新キャプテン・副キャプテンの不安を解消するべく始まったそうですが、平成28年度より、学区の小・中学校で育てたいリーダー像を共有し、やがて「小・中学校のリーダーは、地域のリーダーに」を合言葉に研修会を実施しているそうです。小学生・中学生に各PTAや地域の方々も参加しての意見交換会もあり、やがて地区のリーダーに育てようとする趣旨の活動に興味を持ち、ぜひ地元に戻ったら実践してみたいと思いました。

大会2日目は刈谷市総合文化センターでの全体会が開催され、記念講演がおこなわれました。講師には、ベップトークの日本での第一人者でもある、岩崎由純氏の「子どもの夢を支える『魔法の言葉』」を演題に言葉の力とその重要性について、熱く語られました。ベップトークは昨秋、学校改革がテーマのドラマ「先に生まれただけの僕」の中でも取り上げられており、もともとは、アメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ます為に行っている短い激励のスピーチです。講演をお聞きして、教育だけでなく、子育てにも使えるベップトークに興味がわいてきました。講演終盤での、跳び箱10段に挑戦して失敗を繰り返す園児に対して見学している仲間の年長園児たちが「できる!できる!!できる!!!」と声援をおくり、激励を受けた直後の挑戦で成功した瞬間を映した動画が流れた時には、会場内も拍手喝采となりました。このように、言葉にはものすごく大きな力があるものだと思います。また、岩崎氏の人柄もよく出ていて、とても楽しく聞く事もでき、まだまだ聞きたくなりました。

私自身も今後は、「励まし、前向きなポジティブな言葉で背中を押して」してみたいと思いました。

最後に来年度開催となる、私たち三重県のPR活動をしてきました。大会成功に向け、三重県民なら「できる!できる!!できる!!!」とポジティブに頑張りましょう。



三重県いじめ防止フォーラム

於 三重県総合文化センター 大ホール
平成30年11月1日

平成30年11月1日(木)三重県総合文化センター 大ホールにおいて「三重県いじめ防止フォーラム」が開催されました。

三重県では本年4月に「三重県いじめ防止条例」が制定されました。本フォーラムは、それを受けていじめ問題克服するための課題を克服する目的として、同条例に規定されているいじめ防止強化月間(4月と11月)に合わせて開催されました。

まず条例の趣旨に賛同しいじめ防止に関する取り組みを行っている各PTAが紹介され、他の団体とともに三重県PTA連合会も紹介されました。

その後、鳴門教育大学の森田洋司特任教授によるいじめ防止についての講演会が行われ、いじめ問題を解決しようとする際には「いじめられた側・いじめた側・周囲の人」と分けて考えるのではなく、「いじめ」という一つの出来事として捉えてどう解決していくかという姿勢が大事だ、とお話がありました。さらに子どもたちの自己肯定感を育むためにも、大人社会も含めてそろそろ減点主義社会から加点主義社会への転換が必要なのではとの提言がありました。

その後、鳴門教育大学の森田洋司特任教授によるいじめ防止についての講演会が行われ、いじめ問題を解決しようとする際には「いじめられた側・いじめた側・周囲の人」と分けて考えるのではなく、「いじめ」という一つの出来事として捉えてどう解決していくかという姿勢が大事だ、とお話がありました。さらに子どもたちの自己肯定感を育むためにも、大人社会も含めてそろそろ減点主義社会から加点主義社会への転換が必要なのではとの提言がありました。

講演終了後には、今年8月に行われた高校生意見交流会での意見に基づいた高校生によるいじめ防止行動宣言が発表されました。

フォーラムの後半には鈴木英敬三重県知事がコーディネーターを務めるパネルディスカッションが行われ、高校生やスクールカウンセラー、いじめ防止支援サポーターである体操クラブ指導者、学習塾講師といった方達とともに三重県PTA連合会の岡田真由美理事もパネリストとして参加しました。パネリストから小さな子どもの変化を見逃さないためにコミュニケーション

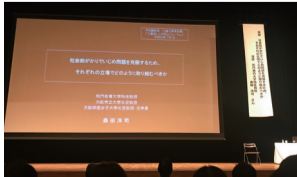
言もありました。講演終了後には、今年8月に行われた高校生意見交流会での意見に基づいた高校生によるいじめ防止行動宣言が発表されました。

フォーラムの後半には鈴木英敬三重県知事がコーディネーターを務めるパネルディスカッションが行われ、高校生やスクールカウンセラー、いじめ防止支援サポーターである体操クラブ指導者、学習塾講師といった方達とともに三重県PTA連合会の岡田真由美理事もパネリストとして参加しました。パネリストから小さな子どもの変化を見逃さないためにコミュニケーション

第75回日本PTA東海北陸ブロック研究大会

三重大会

平成31年10月18日(金)・19日(土)



「取得の工夫がとて大事だとの発言があり、それに対しパネリストの高校生からは「自分の小さな気持ちの変化を察して声かけしてくるの、素直に返せないことが多いが嬉しいものです」との意見が出ました。また、同じ高校生による「子どもは意外と大人をしっかりとみているものです。やはり大人から陰口を聞いたり、言動が違っているとがっかりしてしまいます」との言葉が印象に残りました。

■対象
2018年4月から2019年3月までに発行された幼稚園、小学校、中学校、郡市P連のPTA広報紙。

■募集方法
2019年3月15日(金)までに応募作品を各郡市P連へ送付する。

■審査基準
PTA広報紙の目的、使命、記事、編集、レイアウト、見出し、文章、発行回数など。

■入選作品の表彰
2019年6月1日(土)、県P連年次総会にて表彰の予定です。

■審査日程
2019年4月7日(日) 三重県PTA連合会 会長賞
同日 中日新聞社賞
同日 優秀賞(三重県PTA連合会賞)
同日 佳作(三重県PTA連合会賞)

第34回 三重県幼・小・中PTA広報紙コンクールのお知らせ

県PTA安全互助会だより

平成30年度災害報告の現状

平成30年12月末までの傷害事故内容は、下表のとおりです。

今年度も、球技大会及び球技大会練習中の事故が、半数ちかくを占めています。注意を払っても避けられない事故もありますが、運動前の準備運動には十分な時間を設定しましょう。

今後も気持ちと時間に余裕を持ち、お互いに事故防止を意識しながらご活躍ください。

▼平成30年度 災害報告 (平成30年12月31日現在)

災害場所	傷害内容										計
	球技大会	運動大会	体育大会	水泳・プール開放	親子ふれあい活動	清掃・奉仕作業	学年・学級行事	球技大会練習	その他PTA行事	その他PTA行事	
アキレス腱断裂	1										1
けが											1
その他 ひび・骨折	1	2	1								4
その他 筋・腱断裂						1					1
ねんざ	2	1		1				1			5
下肢骨折	1						1		1		3
関節炎		1									1
腰痛								1			1
挫傷		1									1
上肢ひび										1	1
上肢骨折						1		1			2
靭帯損傷・断裂	4		1						1		6
打撲	1	3		1	1	1					7
虫さされ等							1			1	2
肉離れ	2	1							1		4
熱中症	1			1							2
目のけが・炎症					1						1
裂傷・刺し傷	1				2	1					4
計	14	9	2	3	5	5	1	5	3		47

日本PTA全国協議会 創立70周年記念式典

日時/11月21日(水)
場所/ホテルニューオータニ



表彰者リスト

表彰	被表彰団体・被表彰者名
文部科学大臣団体表彰	鈴鹿市立神戸中学校PTA
文部科学大臣賞(個人)	安藤 大作 原田 浩伸
日本PTA会長賞(団体)	名張市立箕曲小学校PTA 志摩市立東海中学校PTA
日本PTA会長賞(個人)	駒田 昌彦 大東 史治 北野ひろみ 青山 浩久
日本PTA会長賞特別(個人)	今井 章 美濃 松謙 橋爪 政吉 堀田 広幸 野田 昌志 駒田 裕司 鈴木 伸哉 荻田真紀子 永田 奈美 小川 竜司 藤田瑠美子 奥野 義生 横山美八子

東海北陸PTA安全互助会連絡会

平成30年12月7日(金)に福井県福井市「ホテルリバービューアケボノ」にて第17回東海北陸PTA安全互助会連絡会が開催されました。

東海6県1市から33名が参加し、三重県PTA連合会・安全互助会から5名が参加しました。各地の事業報告書等の資料交換の後、各地区からの事業報告や運営課題等の協議・情報交換がなされた。

24時間補償!! 三重県PTA こども総合保障制度

県PTA連合会では、PTA会員のお子さまを対象とした団体保険契約を従来より行っております。

これは、県下の実績を持つ損害保険会社3社の共同保険であり、団体割引・過去の損害率による割引が適用されます。

★保険種類: こども総合保険・自転車総合保険
★保険期間: 2019年5月1日より1年間
★案内時期: パンフレット・申込書などは、毎年4月上旬に学校を通じてお子さまへお渡ししています。

(2019年1月現在の内容です。)

★引受保険会社

- AIG損害保険株式会社
- 東京海上日動火災保険株式会社
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- 平成30年度は、16,000名以上の方が加入しています。

【ご加入に関するお問い合わせ】
AIG損害保険株式会社 三重支店
〒514-0036 三重県津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル2階
TEL: 059-226-3911 <https://www.aig.co.jp/sonpo>
受付時間/土・日・祝日・年末年始を除く 午前9:00~午後5:00

S-190308 (2020-02)

一般社団法人 三重県PTA安全互助会 災害補償制度のご案内

★平成29年4月1日(土)より一般社団法人となりました。

共済・保険の種類 (補償内容は従来どおりです)

傷害共済、PTA賠償責任保険

PTA活動充実発展のためには、各種活動中に生じる事故を防止し、安全教育的を徹底するとともに安心して活動できる体制が必要です。そこで本会は、会員がPTA活動中の未然に防ぐことができない事故により災害を受けた場合、一定の補償をし、なお一層円滑な活動の運営を図るために設けられました。

みえの親スマイルワークで 交流の場 (学校でのPTA研修会、保護者会、学級懇談会、入学説明会、就学時健診 など) を 作りましょう!

スマイルリーダー養成講座 7月27日(土)予定

※当制度は、会員の皆さんの会費で成り立っています。

○共済金・保険金を受けられる対象者と期間

対象者: ◆PTA会員(会員の代理可)、協賛会員
◆加入PTAの所属園児・児童・生徒、および同居の親族

期間: ◆2019年4月1日~2020年3月31日

単位PTAの手続きです

①共済契約申込み(見込み人数報告) 毎年3月24日締切

②共済契約(確定人数報告・共済掛金振込) 毎年5月22日締切

〒514-0061 津市一身田上津部田1234 三重県生涯学習センター2F 一般社団法人 三重県PTA安全互助会
TEL:059-233-0910 FAX:059-233-1164

当災害補償制度のお申込み方法等詳細につきましては、上記へお問い合わせください。